

鶴川中央小学校

校歌

三 励まし合って 高め合い
歴史を重ねて 紡ぐ日々
悔しながたつて 泣いたつて
みんながいるから
真心磨いて たくましく育て
こころのふるさと 中央小で
われらの鶴川中央小で

二 笑顔の花の 咲く丘で
力いっぱい 生きる日々
ぶつかり合って おこったつて
心通わせて
めげえた希望と 友情いだいて
絆を集めて 走りだそう

一 青空見上げ 羽のぼし
陽の光あびて つどう日々
助け合って 笑い合って
仲間とすまう
無限の世界に 道を切り拓け
未来を信じて とまにゆこう

鶴川中央小学校 校歌

【制作者から】「校歌をつくる会」を通して感じた児童のみなさんの想いを胸に一生懸命制作しました。未来へ進む子どもたちを「青空に向かって羽ばたく鶴」に重ねた歌い出しや激励のメッセージ。子どもたちが歌い継いでいくことでこの作品が一層味わい深くなり、学校生活の思い出に彩りを添えることを願っています。



作詞・作曲
田代遊太

校章



コンセプト
「未来へすすむ7色のツル」

デザイナー
尾崎文彦

コンセプト設計
新実拓 友井翔太 伊藤由美



【制作の考え方】7羽のツルが連なって、7枚の花弁をつけた一輪の「ツル」を形成しています。鶴三小と鶴四小の児童が力を合わせて輝く姿と、いつまでも限りなく躍進する様子を表現しています。また、豊かな個性を7色で表現しつつ、どこか楽しげに回転する構成にすることで、自然の循環や豊かな環境も想起させています。

児童の交流

両校の児童が楽しみながら交流

新年度から一緒に学校になる子ども同士が顔見知りになることや、環境に慣れることを目的に、両校の児童が交流する機会を設けています。その一環として、2025年11月には、仮校舎として使用する鶴川第三小学校で、両校の全校児童が一堂に会した交流会が開催されました。クイズやミッション、スタンプラリーなどが広い校内のいたるところに用意され、学校中を巡りながら友達と一緒に挑戦し、楽しく交流しました。



教室や校庭で行われた交流の様子

両校の歴史を締めくくる節目の年、皆様の深い学校愛に触れました。統合への道りは平坦ではありませんでしたが、両校が手を取り合い、地域一丸となって準備を進めた日々はかけがえのない経験となりました。開校は一つの終わりではなく、新しい伝統の始まりです。新しい学校で子どもたちが多様な価値観に触れ、さらに大きく成長することを期待しています。



鶴川第三小PTA
会長 岩永三華さん
鶴川第四小PTA
会長 沼尻宗子さん

2 本町田ひなた小学校・成瀬小学校の開校後の“今”

学校統合から約1年。子どもたちの様子は？ 学校行事は？ どんな1年だったでしょうか。

統合校の校長インタビュー

新たな学校づくりの第一弾として2025年4月に開校した本町田ひなた小学校と成瀬小学校。子どもたちも先生たちもドキドキしながら迎えた4月の始業式から約1年が経ちました。そこで、両校の校長先生に、新たな学校が開校しからの子どもたちの様子等について、1年間を振り返っていただきました。

本町田ひなた小学校



校長 清水 淳

仲間が増えて、笑顔いっぱい！

始業式。どことなく寄り添い様子の子もたち。統合して初めて全校児童がそろったのです。不安や孤独を感じるのは当然です。そんな子どもたちに、仲間が増えたことを生かし、様々なことに挑戦してほしいと話しました。仲間が増えたからこそ面白いこと、楽しいこと、できることが増えるはず。楽しみは大人から与えられるものではなく、自分たちで生み出していくものです。学校は楽しくしていく場であり、テーマパークのように楽しさを与えられる場ではありません。

二つの学校が一緒になり、新たな学校を創る日々。互いに違いがあって当たり前です。違いを「なるほど……」と多様性を感じさせるようにするため、縦割り班活動や1・6年生、2・4年生、3・5年生というペア学年での活動を多く取り入れました。同学年だけの活動では、少しの違いが「差」となりがちです。異学年での活動は元々違って当然。違いこそが解決策を模索する学びの入り口になると考えたのです。

ほぼ1か月に1回の縦割り班活動に加え、ペア学年での活動は各教員が工夫を凝らしました。清掃活動を活用した「クリーン大作戦(1・6年生)」、クイズブックの基本操作を活用した「教えて4年生(2・4年生)」,そして学校行事を活用した「ひなた祭りハーサル交流(3・5年生)」など多種多様です。特別支援学級も、活発に異学年合同の活動をしています。どの活動も教育課程に溶け込み自然な形で活動になっています。

開校式典で子どもたちが発表した「ひなたっ子宣言」。子どもをはじめ教職員一同、一丸となって宣言どおり「笑顔あふれる学校」にしています。

成瀬小学校



校長 吉成美紀

保護者、地域の方とともに、笑顔あふれる学校へ！

「おはようございます！」元気なあいさつで成瀬小学校の一日が始まります。2025年4月、南第二小学校と南成瀬小学校を統合して開校した成瀬小学校は、子どもたちにとって新しい環境や人との出会いが多く戸惑うこともあったことと思います。それでも、地域や保護者の皆様に見守られながら日々の学習や行事を通して互いに認め合い助け合う姿が多く見られるようになりました。

授業では、互いの考えを伝え合いながら学ぶ姿が見られます。運動会や連合音楽会等では、学年で力を合わせ一つの目標に向かって取り組み絆を深めていきました。縦割り班で実施した全校遠足では、6年生を中心に各学年の子どもたちが協力しながら楽しく活動をしています。子どもたちは新しい学校の一員としての意識を高め自信と達成感を得ているところです。新たな歩みを進める中で、子どもたちは地域や保護者の皆様に支えられながら学校生活を重ねてまいりました。安全委員や保護者の方々による登校時の安全見守り、全校遠足や運動会などの行事へのご協力、日々の温かい声かけ等一つ一つの関わりが、子どもたちにとっての大きな安心と励みとなっています。学習や体験活動では、地域の方々にご指導いただく機会が非常に多く、子どもたちは「地域の中で育てられている」という実感を深めています。

町田市教育委員会の皆さんをゲストティーチャーに迎えての4年生総合的な学習では、子どもたちから「たくさん友達が増えて嬉しい。」「少し不安だったけれど、すぐに仲良くなった。」との声が出ました。新たな学校の体制を整えていくにはまだ課題があり道半ばではありますが、引き続き子どもたちの笑顔があふれる学校となるよう教職員一同努めてまいります。